

天草の「崎津集落」って何?

天草市河浦町の「天草の崎津集落」はいくつもの困難を乗り越えて、心豊かな安らぎの宗教・文化を伝え、宗教は違ってもみんなで支えあって生活してきた漁村集落なんだ。ここでは崎津の重要なポイントを勉強しよう!



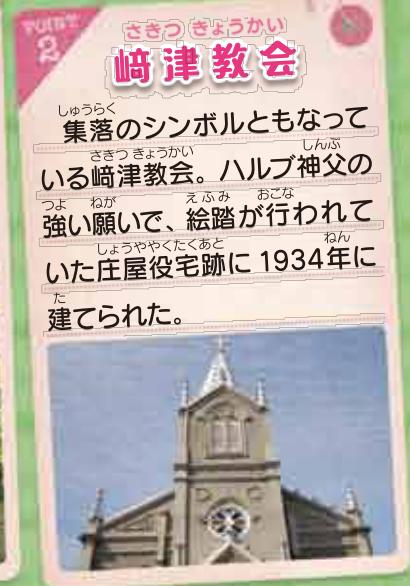
戦国時代には布教拠点となった崎津。しかし、江戸時代には、キリスト教を取り締まるため、庄屋役宅でキリストやマリアが描かれている板を踏ませる「絵踏」が行われていたんだ。



しかし、1805年、村人がキリストだと発覚する事件「天草崩れ」が起きる。密かに信仰を続けていたキリストンたちは取り調べの中で「自分たちはどこにお詣りに行くときも、あんめんりゆす=アーメンデウスと唱えていた」と話したんだ。



1647年、漁師の豊漁や安全祈願のために建てられた。「天草崩れ」の舞台でもある。



集落のシンボルともなっている崎津教会。ハルブ神父の強い願いで、絵踏が行われて庄屋役宅跡に1934年に建てられた。



でも、崎津のキリストンたちは、密かに信仰を続けていた。アワビ貝の内側の模様をマリア様に見立ててお祈りするなど、漁村独特の信仰が育まっていたんだ。



厳しい取り調べを受けても、多くのキリストンたちは信仰を捨てず、キリスト教が認められるまでの長い間、密かに信仰を続けた。これは、世界の歴史の中でもとても珍しいことだったんだ。

崎津集落見学のルール

まちのなかでは
迷惑にならないように
マナーを守って見学しましょう!

- ① 道に広がって歩きません。
- ② 勝手にモノや道具に触りません。
- ③ 大きな声でしゃべりません。
- ④ プライベートな場所を撮影しません。



お問い合わせ先

天草市役所
世界遺産推進室

TEL 0969-76-1116

2018年9月発行